

「森の草本類の特徴と草刈を学ぼう①(手刈り・貴重種保全)」

日時：令和6年6月1日(土) 9:30～12:30

場所：羽沢けやき憩いの森(羽沢3-30)

こどもの森拡張用地(羽沢2-31)



ねりまの森維持管理コースとは？

地域の貴重な財産である憩いの森などを守り育てるため、管理活動に必要な知識と技術の習得を目指す講座です。座学と実習を交えて、草刈りや中低木の剪定技術などについて学びます。

練馬区の憩いの森等にみられる希少種や、繁茂に気を付けたい植物、草地の管理方法について学びました。そして、安全管理の確認後、鎌を使った草刈りを行いました。

講義の様子



巻き結び



草刈り実習



鎌を使った草刈り



実習前



実習後

オオキンケイギクの駆除



オオキンケイギク…特定外来生物

安全管理のポイント「鎌の使用」

鎌を使った草刈りをする際に、気をつけたいポイントがいくつかあります。まず作業範囲を決めたら、足元や頭上、周囲の状況をチェックしましょう。ゴミや木の根っこ、竹の尖った切り口はないか、枯れ枝等落ちそうな樹木はないか、近くの樹木にスズメハチやチャドクガなどの危険な生物はいないか確認します。作業中は、視線が低くなるため視界が狭くなりがちです。周りが見えなくなることを防ぐためにも、声掛けをする、前後に人がいないか確認する等、徹底しましょう。鎌は刃物です。危険な物を扱うということを忘れず、鎌を振る時は体の外側に流すようにする、鎌を持たない手で草を持つときは手の方向に気をつける(親指を下に向けない※写真)等、使い方には十分注意をし、安全に作業を行いましょう。



今回のキーワード「植物を知る」

植物は種類が多く、最初は「嫌だな」「よくわからないな」と思いかもかもしれません。しかし、みなさんの管理されている森には、多くの植物があり、樹木や草本類を身近に感じることができます。この葉っぱはなんだろう？この花はなんだろう？少しの疑問が出たら、目印をつけて調べたり、写真を撮ったりして、観察してみてください。写真を撮っておけば後で分かる人に聞くこともできます。四季を通じて植物を観察できる環境は、とても貴重です。1年間続けると、こんな植物もあったのかと気づきがあると思います。まずは、付録の図鑑をパラパラ見てなんとなく見たことあるな、という状態にしておくと、管理されている森にも同じ植物があるのに気付くかもしれません。続けるうちに、積み重ねで少しずつわかってきます。ぜひチャレンジしてみてください。

